

七条中学校だより5月4号

京都市立七条中学校

令和8年5月11日

発行：校長 林 秀雄

SNSと人権について

5月は「憲法月間」です。さて、今回は「SNSと人権について」考えてみましょう。皆さんは「SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）」について、どのように感じているでしょうか。今、すでにSNSを使っている人もいれば、携帯電話を持っていない人、SNSを使っていない人もいます。それはどれも間違いではありませんし、それぞれの選択です。けれども、これから先、大人になっていく中で、多くの人インターネットやSNSを使う機会は増えていくでしょう。「今は使っていないから関係ない」ではなく、「将来、自分が使う立場になったとき」を想像して考えることが大切です。

SNSはとても便利です。遠くの人とつながれたり、自分の考えを伝えたり、楽しい気持ちを共有したりすることができます。一方で、使い方を間違えると、知らないうちに誰かを傷つけてしまったり、自分自身が傷ついたりすることもあります。

ここで、皆さんに考えてほしい問いがあります。画面の向こうにいる相手も、自分と同じ「心」を持った人だと、意識できているでしょうか。「冗談のつもり」「軽い気持ち」で書いた言葉が、相手を深く傷つけることはないでしょうか。誰かの写真や情報を、本人の気持ちを考えずに広めてしまっていないでしょうか。もし自分が書かれた側だったら、どう感じるでしょうか。

憲法が守ろうとしているのは、特別な誰かの権利ではなく、皆さん一人ひとりの人権です。そして同時に、皆さんの行動が、誰かの人権を守ることに、傷つけてしまうことにもつながるということを、私たちは忘れてはいけません。学校生活の中でも、インターネットの世界でも、「自分はどうしたいか」だけでなく、「相手はどう感じるか」「この行動は人を大切にしているか」と立ち止まって考える姿勢を持ってほしいと思います。人権とは、「自分らしく生きる権利」であると同時に、「他の人の生き方も大切にできる責任」ともなるものです。

憲法月間である5月を機会に、SNSを使う・使わないにかかわらず、私たちが互いの人権をどう守り合って生きていくのか、ぜひ一人ひとりが考えてみてください。

その積み重ねが、安心して過ごせる学校、そして社会につながっていくと、私は信じています。

朝読書について

本校では、毎朝8時30分から10分間、「朝読書」の時間を設けています。これは、ただ本を読む時間というだけではなく、みなさんの学校生活やこれからの成長にとって、とても大切な意味をもつ時間です。

まず一つ目の目的は、「読書に慣れ親しみ、読書習慣を身につけること」です。本を読むことは、新しい知識を得るだけでなく、想像する力、考える力、そして自分の気持ちを言葉にする力を育ててくれます。毎日10分という短い時間でも、続けることで自然と本を手取る習慣が身につきます。最初は厚い本でなくてもかまいません。物語、伝記、科学、興味のある分野など、自分に合った本と出会うことが大切です。

二つ目の目的は、「落ち着いた気持ちで一日を始めること」です。登校後すぐの時間は、友だちとの会話や移動の忙しさで心がざわつきがちです。朝読書の時間に静かに本と向き合うことで、気持ちが自然と整い、心を落ち着かせて一時間目の授業に向かうことができます。これは、集中して学習に取り組むための大切な準備でもあります。また、教室全体が静かに同じ活動に取り組むことで、「学ぶ場としての雰囲気」も育まれます。みんなが読書に集中する空気は、自分自身を高めるだけでなく、周りの仲間を大切にすることにもつながっています。

朝読書は、すぐに目に見える成果が出るものではありません。しかし、毎日の積み重ねは、確実にみなさんの力になります。本を通して広い世界に触れ、自分の心を豊かにし、落ち着いた一日のスタートを切りたいと願っています。

これからも、朝読書の時間を大切に、それぞれが本と向き合う時間を楽しんでください。

諸費及び積立金について

預り金の引き落としが始まります。5月分の振替は、5月25日に銀行引き落としになります。各学年の振替額の詳細は、別途配布プリントでお知らせ致します。口座へのご入金をお願い致します。

1年 8,440円

2年 7,192円

3年 6,565円

※育成学級については個々によって異なるため、既に配布した内容をご確認ください。

子どもたちの今と未来のため 社会のあらゆる場で

「京都はぐくみ憲章」を実践しましょう!

